

生涯 楽習 だより

企画・編集：府中市生涯学習ボランティア「悠学の会」
共同発行：府中市文化スポーツ部文化生涯学習課
ふちゅう生涯学習センター共同事業体

第77号

2021年10月1日発行

P1. これからの
市の文化振興を聞く

P2. 自主グループ紹介
「リリアーレ」「まほろば」

P3. 「学びを楽しむ・学びを支える」
サウンドフェスティバル 江口さん

P4. 「ふちゅう東西南北」
私の好きな場所&ひと時



《今月の一枚》
店頭には秋の果物が
並んでいます。色取
りもにぎやかに、香
りも味わいもそれぞ
れ。さて何を選びま
しょうか？
「絵手紙きすげの会」
作品より

コロナ禍の中でも…

秋だ！文化だ！芸術だ～！

新型コロナウイルスの感染拡大で、今年予定されていた文化・芸術関係のイベントは、余儀なく中止や延期、またはオンライン開催に変更となりました。でも、元気に活動されている団体・グループが沢山あります。コロナ禍の中でも元気を出して、府中の文化・芸術をみんなで盛り上げていきましょう。

今は文化どころじゃない！と思っている方へ 市の文化振興係に話を聞きました

文化振興係はどんな仕事を担当しているのですか？

文化スポーツ部文化生涯学習課文化振興係は、イベントは府中市民芸術文化祭や青少年音楽祭、施設は府中の森芸術劇場と市民会館を担当しています。

『市民の方々が文化・芸術に触れる機会を提供すること』『やりたいと思っている人が体験できる場を拡充すること』『文化活動を継続できる環境をつくること』、これらの目標を達成するために日々仕事をしています。

コロナ禍で文化・芸術も大変だと思いますが…

これまで、活動している方に発表の機会を提供して支援したい、府中の文化・芸術に触れて新しい発見をしてほしいと願って事業を行ってきましたが、昨年度以降、感染症拡大防止のためほとんどのイベントは中止となり、施設も一時休館しました。

でも、STAY HOMEでお家時間が増えたことで「何か始めたいな」と思う方は増えていると思います。この機会に文化・芸術を始めたいという方のためにも、コロナ禍でもできるやり方を探し、できることを続けていくことが重要だと考えています。

これから力を入れていきたい事はありますか？

今後はインターネットなどの進化している新しい技術を取り入れて発信力を強化すること、これまで市民の皆さまが培ってきた活動を大切にしつつ、新しい文化・芸術を支援していくことに力を入れていきたいと考えています。

引き続き、各部署・各施設と連携し、市民を主体とした文化振興を行っていきますので、ぜひ、ご参加ください！

(取材：生涯楽習だより編集グループ)

毎年10月第2日曜日は「市民文化の日」！

府中市では、10月第2日曜日を「市民文化の日」とし、市民の皆さまが気軽に、豊かな文化・芸術を体験できるきっかけづくりとして、市内の8つの施設で文化・芸術に関連した催しを行っています。

今年は10月10日が「市民文化の日」です。感染症対策のため制約はありますが、文化・芸術に触れるきっかけにいただければと思います。





生涯学習センターを中心に活動する 自主グループの紹介

今年の生涯学習フェスティバルでは、市民発表会がオンラインで開催されました。その中から音楽系の2つの自主グループを紹介します。

和風音楽グループ まほろば

「まほろば」は府中市内のイベントを中心に活動している音楽グループです。府中市の歴史や風土にちなんだオリジナル楽曲のほか、民謡をバンド用に編曲したもの、上々颱風などのカバーが主なレパートリーです。これまでにホール公演、学校・保育所公演、寺院ライブ、出張ライブ、各種イベント等 50 公演以上を行ってきました。「よさこい in 府中」参加団体にも楽曲提供しています。

音楽性は「エスノポップ」を旗印に、日本の伝統音楽を踏まえながらデジタル機材もフル活用しています。

現在はボーカル、キーボード、シンセベース、ドラムパッド、大正琴の編成で演奏しており、曲によっては和太鼓や箏、ラテンパーカッションを使うこともあります。

楽曲に興味のある方、イベント出演のご依頼、一緒に演奏してみたいという方は右記までご連絡ください。

楽曲は QR コードから聴くことができます。

YouTube まほろばチャンネル



活動場所: 演奏は市内各所、練習は若松町
活動日: 主に週末

【連絡先】 和田 090-6173-6183
minoru-wada@e-mail.jp



ハンドベル リリアーレ

私たちリリアーレは、イングリッシュハンドベルを演奏するグループです。

毎週水曜日に生涯学習センターで練習し、演奏技術の向上に励んでいます。

賛美歌、クラシック、ベルのオリジナル曲、映画音楽、J-pop、歌謡曲、民謡などあらゆるジャンルの曲を演奏します。

今までは 保育園、学校、高齢者施設、商業施設など、その場所その季節に合った選曲をして訪問演奏してきました。

百聞は一見にしかずと申します。今年は生涯学習センターの市民発表会がリモート発表になりましたので、ご覧いただいた方もいらっしゃることと思いますが、YouTube でも「リリアーレ ハンドベル」で観ていただけます。

イベントなどでアトラクションが必要な時は、お声掛けください。お待ちしております。



活動場所: 生涯学習センターや
市内文化センター

活動日: 水曜日

【連絡先】 吉野博子 090-5323-9608

「悠学の会」Web サイトを始めました

悠学の会の活動状況や活動成果を掲載しています。右の QR コードを読み込んでアクセスしてください。



サウンドフェスティバルを支え続ける 江口裕之さん(住吉町在住)



学生時代の江口さんは、勉強よりもみんなで協力して新たなものを創り上げるバンド活動に熱中していたという。現在は生涯学習フェスティバルで開催されている「サウンドフェスティバル」の事務局として、市内の仲間と共に音楽活動の普及に努めています。

サウンドフェスティバル(以下 SF)にはいつごろから関わりを?

生涯学習センター開館の翌々年(1995)から SF が開催されるようになり、その際に学習センターの音楽練習室を利用してバンドに発表の場として声がかかったことがきっかけです。最初は4バンドから始まり、徐々に参加団体が増え、現在は15バンド前後が参加するイベントになっています。

SF は参加者による自主運営が継続の条件だったので、実行委員会を立ち上げ、毎年持ち回りで委員長を選任し、私は事務局として運営に関わることになりました。



SF を長く継続するには何かと苦勞もあったのでは?

音楽を愛する方は、一般的に自己主張が強い傾向があると思います。バンド内でも音楽の方向性等についてぶつかりあったりすることがあります。ましてや、異なるバンドが集まる実行委員会では、好みの音楽や年代、進め方の違いでの衝突もしばしばありました。何とか、このバンド間の繋がりを作る事は出来ないか、と考えたのが「オールスターズ」の企画です。各バンドから代表メンバーを選出してもらい、SF の最後を合同演奏で締めくくるといふものです。

みんな音楽が好きという共通性がありますから、徐々に相互の理解が進み、お互いの意見の違いも最後には音楽の仲間として気持ちよく結論を見出すことが出来るようになりました。今日まで継続出来たこと、それが一番の成果かも知れませんね。

SF のステージはとても楽しそうな雰囲気ですね

出演されているバンドの最長老は、かつてのグループサウンズ世代の方々です。セカンドライフを契機に学生時代のバンドを再結成し、SF に参加されました。そういう方々が往時の音楽を演奏しており、私達も良い刺激を受けています。

また、普通のライブイベントでは、参加メンバーに1人でも欠員が出れば、バンドとしては成り立たず、出演辞退せざるを得ませんが、SF の仲間が助っ人メンバーにな

ってくれたりする。そんな繋がりも出来ています。



SF 以外の交流はどの様によ?

SF でのつながりを機に、他のイベントでも声を掛け合って、出演する機会も増えています。また、バンド間でメンバーが移動する例もあります。

SF の連絡用のメーリングリストやグループラインにより、お互いのライブの情報なども連絡し合い、応援にいくなどの交流も行っています。

この活動を通してやりがいを感じる時は?

SF は参加団体のジャンルが非常に広いのも特徴です。本格的なロックから美しいハンドベルのグループ、ラテン音楽や地元府中をテーマにしたオリジナル曲を演奏するグループなど多種多様です。また、兄弟、親子、子供の学校の保護者の集まりとか、SF のステージを観て再結成したとか、参加のきっかけも広がり、色々な形の団体が集うようになりました。団体数も多くなり、当初は日曜日だけの開催が、2011 年からは土日2日間になりました。より参加しやすくなり、それだけ多くの方に認知されて来たのかもしれない。それが嬉しいですね。

音楽活動というのは今後どのように進んで行くのでしょうか?

コロナの影響で今年の SF は開催を見送りましたが、9月7日~9月30日の間開催された生涯学習フェスティバルの市民発表会で、「オンライン開催」という形を取りました。

ネットワークの普及により、ネット上での練習も可能になり、今後はリアルなステージと共にネット配信やリモートからの参加など、多様な可能性が考えられると思います。今回のコロナの経験も活かしながら、更に可能性のあるツールを活用して活動していきたいと思っています。

ここ2年間は SF も中止になりましたが次回に向けて?

SF も既に25回を開催しています。第30回の節目の SF は、記念になる企画を考えたいと思っています。やはりみなさん、「ライブが一番」と思っていますし、周辺の街からも「府中には素敵な音楽イベントがあるね。」と思われるように、いろいろな企画を準備したいと考えています。

府中はラグビーだけではなく、私たちの活動が普及し「音楽の街 府中」でもであると発信出来ればと思います。

(取材・文:小林、西谷)

“ほっこりする”“元気が出る”私のお気に入りの場所&ひと時

おうち時間が増える中、時にはお気に入りの場所に出かけてのんびりとしたひと時を過ごしてみませんか。コロナ禍でたまりがちなストレスが、少し軽くなるかも…

《雄大な景色を楽しむ》

私のお気に入りの場所は「府中多摩川かぜのみち」です。そこでは、南から西、西から北へと展望が開けています。12月の冬至の太陽は、西へ向かって最も左に沈みます。それは富士山の左、丹沢山地最高峰蛭ヶ岳方向へと沈みます。6月の夏至には、逆に富士山の右、高尾山を乗り越えて、北の奥多摩、雲取山を越えて沈むのです。この左右の振れの角度は60度ほどだそうです。



半年間でのこの60度の移動は当然日々の動きの積み重ねになります。その具体的な日々の動きは、11月のダイヤモンド富士が見られる時には明らかになります。富士の右肩に沈んでいた太陽が、6日もすれば頂上を越えてその左肩へ沈んでいくのです。この時の日没を見ていると、明確に位置が日々変化し「あッ動いているんだ！」と実感できます。でもそれは富士山方面が快晴続きの時でないと思われません。

大自然の動きを感じるには、自然の中へこちらが出向いて行き、変化を見つめなければなりません。そこでの自然は大きく動いています。その大きな動きのなかで、私は生かされているのだと、実感できるようになってきました。歳かな？！（鈴木禎治）

《のんびりのんびり》

緊張感はどうに忘れ去り、「ひねもすのりりくらりかな」などと呟いて、ぐうたら暮らしをしているような私には、ホッとするという素晴らしい時間は訪れそうもない。本当は、もう少し充実した暮らしがしたいと思うけれど、口先ばかり、言い訳ばかりで行動力が伴わない。ああ、なんだかとてもつまらなくなってきた。これもみなコロナ禍のせいにしてしまおうか。あるいは歳のせいとして早めに逃げてしまおうか。だけれども、逃げ場所探しもこれまた大変！

私の拙い作文も、ひとまずここでひと休み。さあ！犬の散歩に出かけよう。今日は神社のでこぼこ小道、小鳥の声を聴きながら「心が自然と安らぐね。もしかしてホッとしているのかな。ちょっと違う気もするね、なんでもいいやね」なんてぼそぼそと犬に話しかけてみる。勿論、犬からの返事はない。（中井博子）

《お気に入りのCaféでゆっくり》

私のお気に入りの一つ目は、大國魂神社です。鳥居前の御神木を見上げ、銀杏の木に会いに行きます。初めて銀杏を見たとき、年月の長さと、隣にいた方が拍手を打ったことが気になって、樹木と古神道について調べてみましたが、古いことなのではっきりしたことはわかりませんでした。ただ全てのものに命が宿るという精霊信仰が今もって日本人の心の底に根付いているということでした。なぜか私はほっとしました。

境内の大きな木々に癒されながら歩を進め、近くにある喫茶店に入ります。ここが二つ目のお気に入りです。

《編集後記》 年4回の「生涯楽習だより」、本号が2021年の最後の号になります。今年はオリンピック・パラリンピックがあり、お家時間を感動で埋めてくれました。いつの時もアスリートの真剣な姿に、よし頑張ろうという勇気をもらいますね。季節は変わって秋。本号では「秋だ、文化だ、芸術だ！」と題し、前向きに頑張る人々取材しました。7の重なる第77が、みなさまに、勇気と幸運を届けられたら幸いです。（西谷信昭）

《父の思い出にひかれて》

京王線の多磨霊園駅南口から歩いて7分ほどのところに東郷寺があります。

東郷寺は皆様ご存知の通り、日露戦争で名を馳せた「海軍大将 東郷平八郎」の別荘跡地に建立されました。毎年4月前後になるとそこにあるしだれ桜を見に多くの人々が訪れます。

私は府中に住むようになってから、度々この寺を訪ねています。そのわけは、亡き父への想いもあります。父は東郷を尊敬し、常日頃子供達に話をしてくれました。父も第二次大戦では海軍に所属し、私が生まれた時には太平洋での任務にあっていました。私の名前は夫の生死を案ずる母が、太平洋の一文字をとり名付けたそうです。

東郷寺の桜は有名ですが、私に於いては、秋から冬にかけて枯葉がカラカラと舞い散る寒さと

厳しさが感じられる中に、人のやさしさと温もりを思い出す東郷寺の庭が、嬉しく大切な場所です。

（柴田洋子）



自家焙煎の香り高いコーヒーを飲みながら、店内に流れる映画音楽、ジャズ、クラシックを聴きつつ本を読むのです。大きいスピーカーとアンプから臨場感たっぷりの音楽に癒されるお気に入りの時間です。友人に一度お店を訪れるよう勧めたところ、大変気に入ってくれたようで、その時かかっていたジャズのCDを2枚も買ったとあとで話してくれました。私も友人も興味があまりなかったジャズを聞いて、音楽の好みの幅が広がりました。

歳とともに考え方が固まり感動が少なくなってしまうので、思い切って行動や好みを変えてみると、人生の幅が広がって良かったと思いました。まずは行動ですね。（山田詩子）